

越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

2011年

No. 7

新年挨拶

迎春

越中福岡の菅笠製作技術保存会

会長 木村 昭二

新年 あけましておめでとうございます。皆様には新たな希望あふれる新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。さて、時代劇に出てくる菅笠は一般の人には、つい見落とされがちですが、必ずといっていいほど、必要不可欠な小道具です。

- ・「竜馬伝」 お竜さんの妻折笠 岩崎弥太郎の角笠
- ・「坂の上の雲」 東郷元帥・正岡子規の角笠
- ・「江」 市女笠・一文字笠

と、いったように、最近のNHKドラマの中でも使われており、私の目に一番に飛び込んできます。

これらの殆どが福岡町で作られた笠である事が誇りです。これからも伝統を守り質の良い笠を作り続けたいと思います。

今年も保存会活動へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

菅笠製作研修制度

保存会通信五号でもお知らせしました「菅笠製作研修」が行われています。菅笠製作に興味にある方が、笠縫技術者の方に個別に指導していただく制度です。

現在、福岡町には、笠縫技術者が、約百名いらっしゃいます。高齢化が進み、このままでは四百年続いた伝統産業が、廃れてしまいます。後継者を育成するため、少しでも前進できたらと、考えておりますので、興味のある方は、是非、ご連絡を下さい。

☎六四一五三三三



スゲコースター



十一月五日（金）福岡小学校にて、「スゲ細工作り」講習が行われました。

講師として、神代則子さん、赤尾節子さん、保存会事務局系の岡の三名が招かれ、六年生の皆さんが刈り取ったスゲを使い、コースターを編み込みました。すきまを作らないよう、力を加減しながら、スゲを交互に重ねていく作業に苦勞していたようです。



菅笠カレンダー

平成二十三年版の菅笠カレンダーを作成し、配布いたしました。どうか、会員の皆様にとって実り多き一年でありますように、お祈り申し上げます。

講演会開催

日時

二月十五日（火）午後二時～

場所

福岡観光物産館

講師

岡山理科大学

星野 卓二 教授

テーマ

「日本のスゲ栽培と

野生スゲの生息状況 その活用策」

スゲ研究の第一人者、星野教授による講演会です。

この機会に、スゲに関する色々な疑問を聞いてみませんか？

自由参加ですので、お気軽にお越し下さい。

お問い合わせ先

☎六四一五三三三

小さな伝統後継者達

昨年十一月十七日（水）、あおぞら幼児学園にて、菅笠についてのお話をする機会をいただきました。

まずは、スゲ草の起源から話し、次に、男児に三度笠、女児に市女笠を被ってもらいながら、菅笠の特性や利点を分かりやすく説明しました。

園児達は、この福岡地域に伝わる伝統をどう受け止めたのでしょうか。このふれあいが少ない中でも、園児達の心に留まってくれたら幸いです。

その後、年長児は、市のマスコットキャラクター利長君と菅笠音頭を踊ったり、菅笠モナカを食べ、楽しい時間を過ごしました。



会員交流会開催

日時

三月十七日（木）

午前十時～午後三時まで

場所

ロツジ山ぼうし

会費

千円（昼食・入浴料込み）

保存会員交流会を開催いたします。たくさんさんの参加をお待ちしております。なお、一時間程、研修会を予定しております。

出席を希望される方は、ご連絡下さい。（送迎バスもあります。）

連絡先

保存会事務局

☎六四一五三三三

